

より利用しやすい親水施設実現のための社会実験※

※社会実験：施策の導入に先立ち、市民参加のもと、施策を試行・評価すること

親水施設利用者とともに、親水施設を安全に利用し楽しむための知識の講義や現地体験を行う取り組みです。

近年の海辺は、磯漁や釣り等の生活の場としての利用だけでなく、マリンスポーツや環境教育等の場所として幅広く利用されてきており、地域の人々が海辺により親しんでもらうため親水施設を設けてあります。

しかし、潮の満ち引きにより海中に没したり露出したりする潮間帯の部分に藻類等の生物が付着し、非常に滑りやすくなっており、利用者が誤って滑る等の危険性も指摘されています。

本研究所では、過去3年間に港湾・海岸の階段工・護岸等において滑り対策について研究を行ってきました※。その結果、滑りによる事故の発生件数や利用者の安全標識に対する不満事項などが分かりました。

※海岸工学論文集 vol.51(2004) 海岸施設における利用者のすべりに関する評価方法と滑り対策に関する研究

※海岸工学論文集 vol.52(2005) 利用者の安全性からみた海岸施設のすべりに関する実態調査

研究の目的

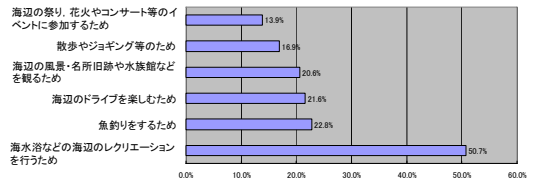
過去の研究結果をもとに、親水施設をより安全に楽しんでもらうための知識を浸透させることで以下を目的としています。

- 親水施設利用上の安全性向上
- 地域の人々がより安全に楽しめる親水施設の計画・設計手法の提案
- 親水施設の整備に対する理解の促進

研究の内容(案)

- 海辺に隣接した地域の住民を対象とし、研究者が施設等へ赴いて、親水施設を楽しむための知識の講義や現地体験を行う。
- 講義・現地体験を行う前後や、参加した人と参加しなかった人に対して意識比較調査、参加者本人による学んだことの報告会の開催等を実施し記録・分析を行う。
- 上記により本社会実験の実施効果を定量的に把握し、講義と理解浸透度との関係、利用頻度向上につながる親水施設の要件等について検討する。
- さらに、本手法を全国の各地域において適用するための取りまとめ・整理を行う。

海辺へ行った目的 ※複数回答可 (海辺ニーズに関する世論調査より)
平成12年度8月調査

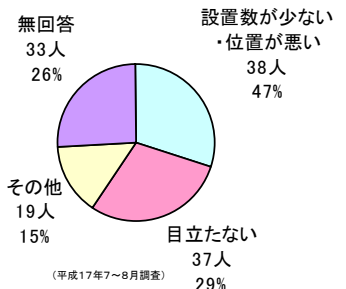
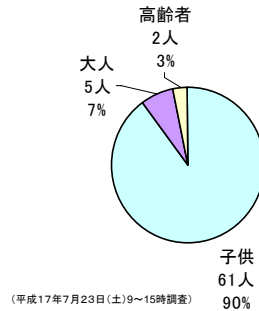


膜状に付着した藻類



非常に滑りやすい

滑りが確認された利用者層 横須賀港他2港における標識に対する不満事項
～横須賀港うみかぜ公園階段式護岸～ (標識に対し不適切と答えた127名のうち)



国土技術政策総合研究所「海岸・港湾親水施設における利用者の滑り対策に関する研究」より



お問い合わせ

国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 沿岸防災研究室

〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1 電話 046-844-5024 FAX 046-844-5068

URL : <http://www.nilim.go.jp>

